

8部

3月卒業者アンケート結果

2019年3月に本学通信教育部をご卒業された方を対象にアンケート調査を実施しました。今後の学習の参考にさせていただければ幸いです。

●卒業者の概要

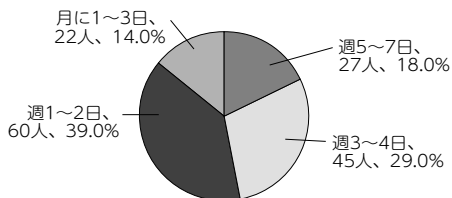
2019年3月の卒業者は、272名（社会福祉学科218名、福祉心理学科43名）でした。うち、4月入学は248名、10月入学は24名。1年次入学が50名、2年次編入学が4名、3年次編入学が218名でした。

●アンケート集計結果

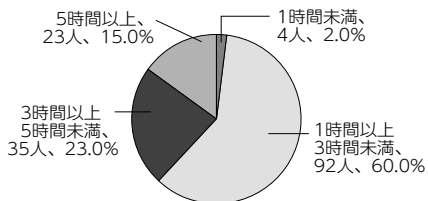
今回のアンケートは卒業者272名中154名（社会福祉学科123名、福祉心理学科31名）から回答をいただき、回収率は56.6%となりました。

1 学習頻度や学習時間についてお聞きします。

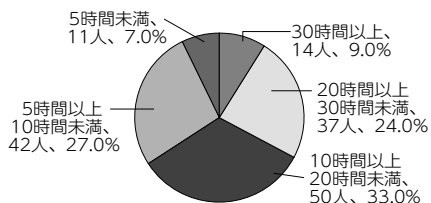
1) 学習の頻度はだいたいどれくらいですか。



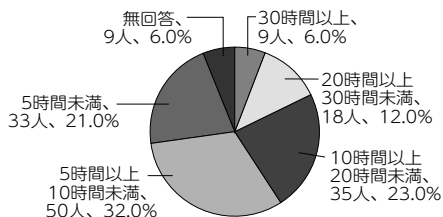
2) 学習する日の1日の学習時間は平均してどれくらいですか。



3) 1単位分のレポート（論述式のもの）が完成するまでに要する平均時間はどれくらいですか。



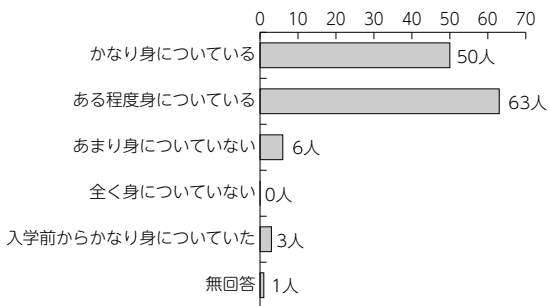
4) 1科目の科目修了試験準備に要する平均時間はどれくらいですか。



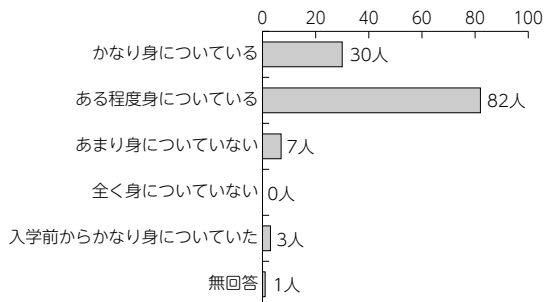
2 自己評定による「学士力」および「社会福祉学科の学生が卒業時に身に付けるべき資質・能力」の達成度として、通信教育部での学びをとおして現在あなたが身につけていると思うもので、一番あてはまるものを1つ選択してください。

【社会福祉学科】

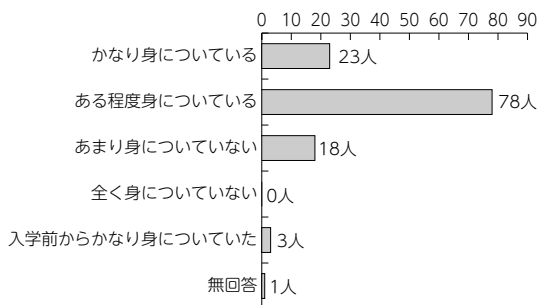
① さまざまな人の生活、人びとをとりまく社会現象・社会構造に関心を持つ姿勢



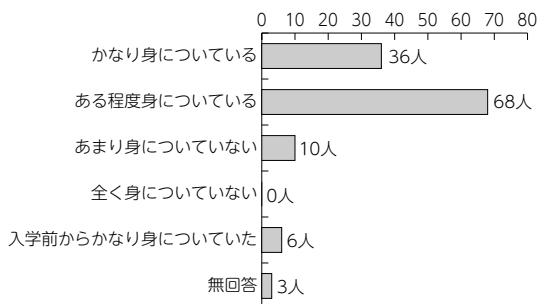
② 生活上の課題をかかえている人へかかわりや支援に役立つ福祉的知識



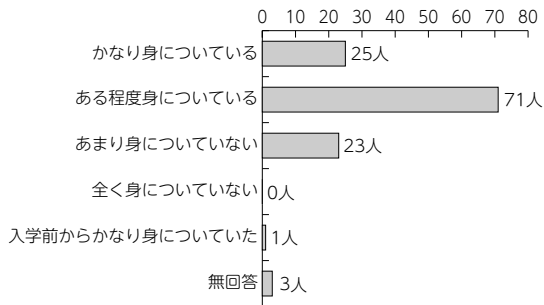
③ 課題解決のために必要な情報を収集・整理・分析・考察し、文章化する力



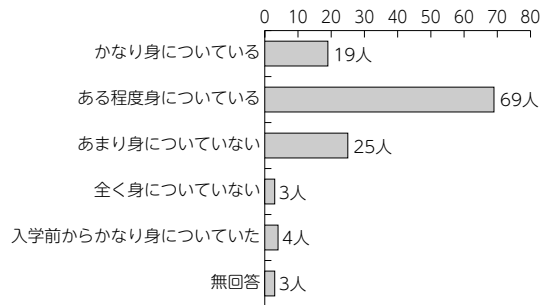
④ 自身の視点や価値観を反省的にとらえ、自身と異なる多様な視点や価値観を理解する力



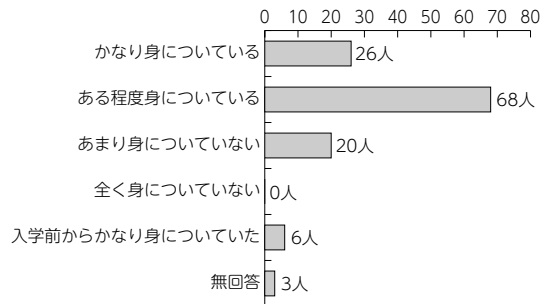
⑤ 課題の原因や背景、現在の状況、解決に利用できることをアセスメントする力



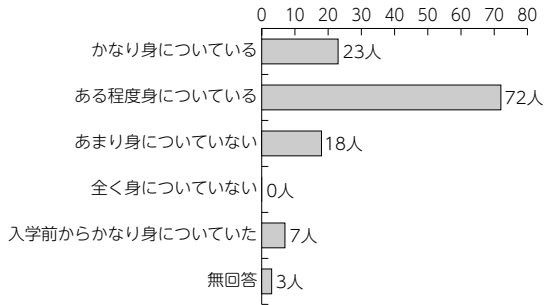
⑥ 根拠から結論を導き、自分の意見を筋道立ててわかりやすく論理的に表現する力



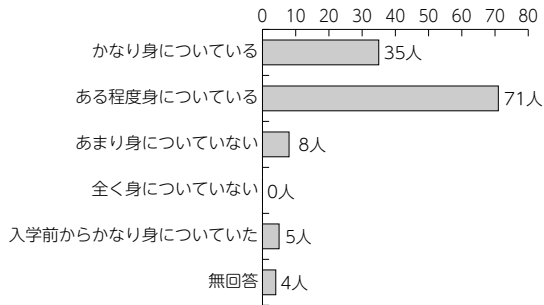
⑦ 他者のよいところや力を引き出し、他者との対話や連携を効果的なものにする力



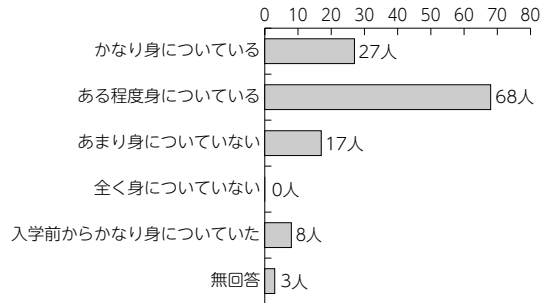
⑧ 異なる立場にある人の意見や考え方を認めながら、相互の理解を深めることができるコミュニケーション力



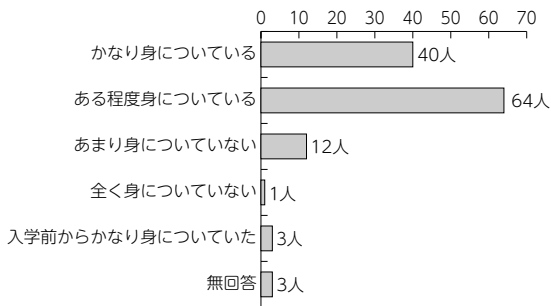
⑨ 課題の解決に向けて、目標を設定し、行動に移し、最後までやりとげようとする力



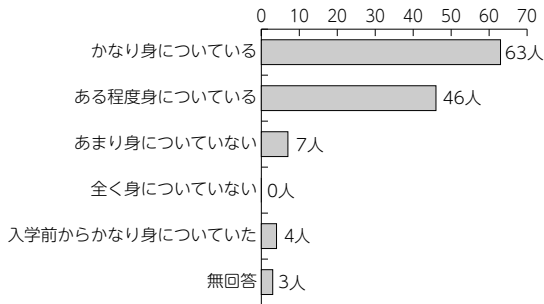
⑩ 困難に直面しても成長する機会として前向きに捉え、乗り越えるためのセルフコントロール力



⑪ 学びをいかして、理論と実践を融合しながら、社会問題の解決や社会に貢献しようとする姿勢

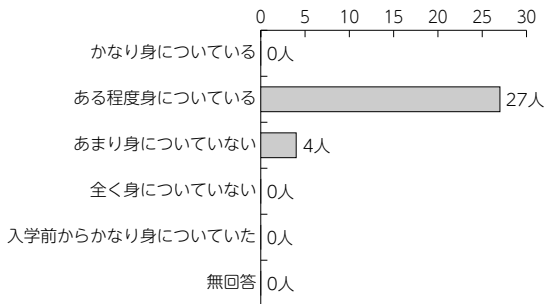


⑫ よりよい福祉の実現のために、多様な知識や視点を学ぶ大切さを理解し、現在の自身のもつ知識・技術は不完全であり学び続けようとする姿勢

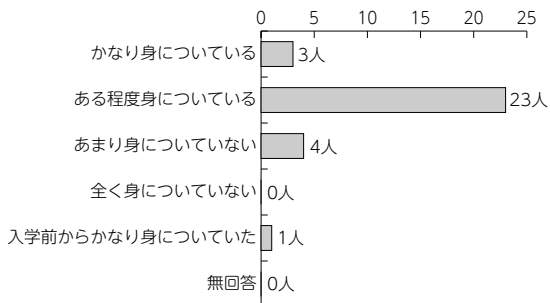


【福祉心理学科】

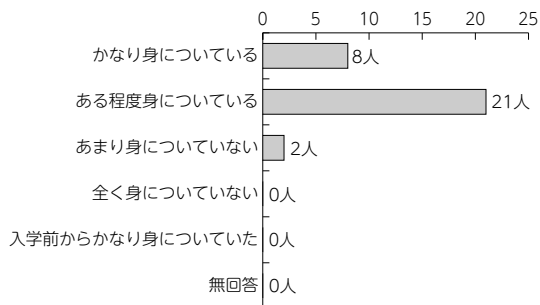
① 人の心と行動を、1) 共通性 (一般的法則)、2) 個人差、3) 社会・環境の影響の3点から心理学的に説明できる力



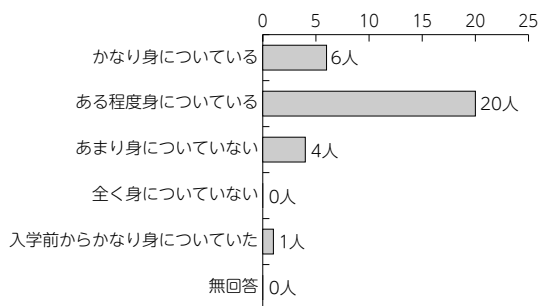
② 根拠から結論を導き、自分の意見を筋道立ててわかりやすく表現する力



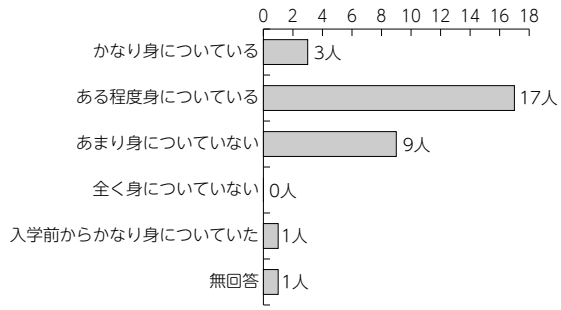
③ 人の心と行動に関する問題に生活場面で気づき、その問題を言語化する力



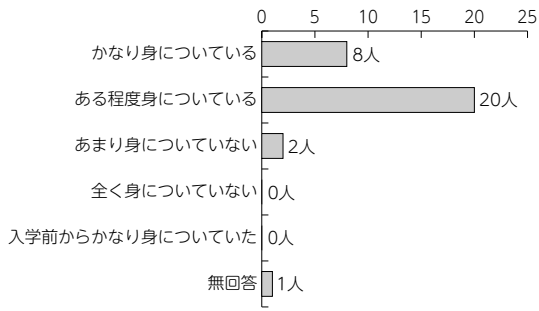
④ 問題の解決のために必要な情報を収集・分析・整理する力



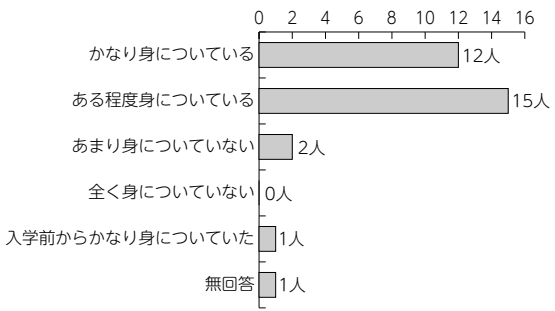
⑤ 問題の解決のために収集した情報を利用し、予防策・解決策を見出す力



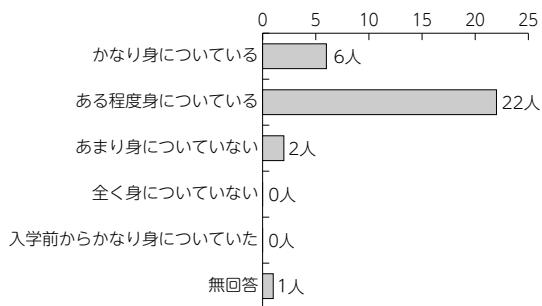
⑥ 問題の発見、解決にあたって、自身と異なる視点や価値観を理解し、多角的に検討する力



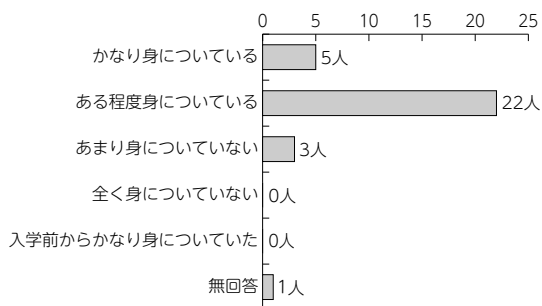
⑦ 他者を共感的に理解し、かつ自分の思いも適切に表現しながらコミュニケーションする力



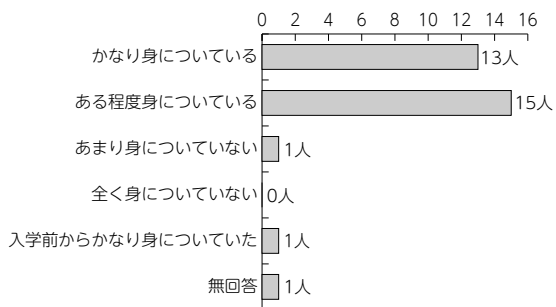
⑧ 自分の気持ち、考え方、行動の特徴に気づきながら、自身をコントロールする力



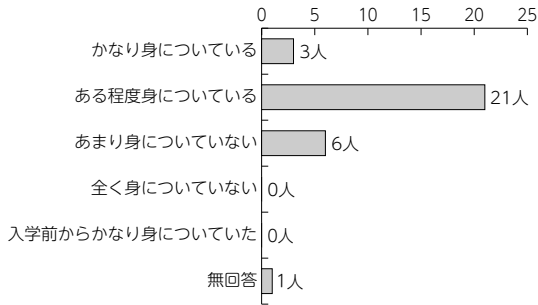
⑨ 集団の特徴、メンバーの心理に配慮しながら、集団の目標達成に取り組む力



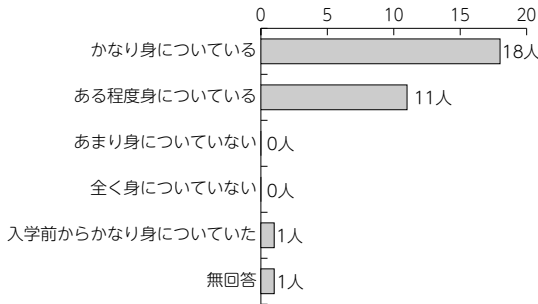
⑩ 学んだことをいかして、人びとの幸せや福祉に貢献しようとする姿勢



⑪ 学んだことをいかして、個人や社会に役立つテーマを設定し、当事者や関係者とともに課題の解決に取り組む力

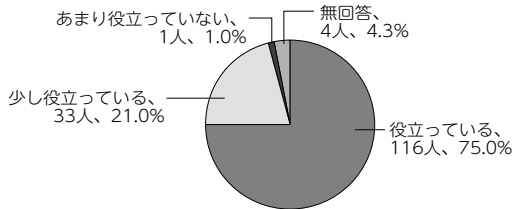


⑫ よりよい人間理解・対人支援のために、多様な知識や視点を学ぶ大切さを理解し、現在の自身のもつ知識・技術は不完全であり学び続けようとする姿勢

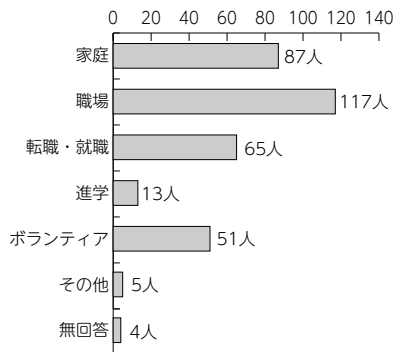


3 学習の成果の活用についてお聞きします。

1) 通信教育部で学んだ内容や得た資格は、職場や家庭などで役立っていますか。一番あてはまる項目を選択してください。



2) 通信教育部で学んだ内容や得た資格をどこで役立てていますか。または、今後どこで役立てていきたいですか。あてはまる項目をすべて選択してください。



【現在役立てていること】

(社会福祉学科 卒業生より)

- ・ 職場の利用者とのコミュニケーションがスムーズに行えるようになった。価値や倫理を学んだことにより、利用者に対して感情的にならず落ち着いて対応できるようになった。
- ・ 職場で相談援助を行う際、目の前にいる人を理解するということを心掛けられるようになった。実習の中での様々な経験が、自分自身の考えや相談援助の考え方等、自分を大きく変えてくれたと思います。
- ・ 福祉の職場で、制度やサービスについて根拠を持って、また他の係についても関連付けて説明できるようになった。また、相手の話から瞬時に必要としている手続き等が判断できるようになり、対応時間の短縮や要約しての引き

継ぎが可能になった。家庭でも制度について話すことが増えた。

- ・物事を理解するための視点が増えたこと。介護中の義父母、家庭、国家試験の勉強、ボランティアにおいても社会福祉を学んだ前と後では、チョイスする言葉も考える方向も違ってきたと自分自身で感じます。
- ・生活保護面接相談員として、精神障害者の相談時、病状にとらわれなくて生活状況をききとれるようになった。知識を得たことで、病気によって生じることなのか判別できるようになり、理解できない人ではないことを周囲に代弁できるようになったことで、理解者を増やすことができるようになった。

(福祉心理学科 卒業生より)

- ・NPO法人を立ち上げ、主に障害者及び高齢者の生活支援等に学んだことを役立てている。
- ・コミュニケーションスキルや理論など、それまで経験でカバーしてきたものが、自信を持って仕事をできるようになったことで、職場だけでなく子育てに関しても、周囲にアドバイスできるようになり、「気持ちが増えた」と言ってもらえるようにまでなった。
- ・自分も含め、なぜそのような行動や考え方をするのか、ということについて一方的な視点ではなく多方面から考えられるようになった。
- ・工作上、相談業務をすることが多く、色々な研修には出ていても基礎が分かっていないのではないかと不安だったが、心理学を学ぶことができ、自分の基礎が固められたと感じている。
- ・①人との関わりの場面における、良好なコミュニケーション（間接的・直接的）および人間関係構築実現のための実践（社会心理学における「ちょっと待った信念」「ネガティビティ・バイアス」などの活用）。②心理学を活用・応用した、効果的な授業・学習方法等の実践（記憶・忘却の仕組み、リハール、スキーマ、チャンク化など）

【今後役立てていきたいこと】

(社会福祉学科 卒業生より)

- ・精神保健福祉士の資格を活かし、ボランティアでの電話相談や、新たな職場で職員のメンタルヘルスに関わりたい。日常生活・社会生活において、受容・共感・傾聴の姿勢で周囲と関わっていきたくて考えている。
- ・資格を取得したことで、私ができることを客観的に理解してもらえる。転職の際の力強いツールが増えた。
- ・実習を通して、他者の痛みに関心し、冷静で温かい支援ができるよう、人間性を磨いていく努力をしなければと思うようになった。
- ・人から見て私が持つ社会福祉士という資格に意味があるように、ソーシャル

ワークを介護員という今の立場から展開できればと考えています。

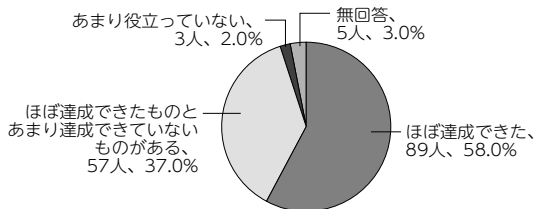
- ・不安や生き辛さを感じている人たちが生きやすい世の中（差別、偏見等がない）に進んでいけるよう、学んだことを振り返りながら役立てていきたい。

(福祉心理学科 卒業生より)

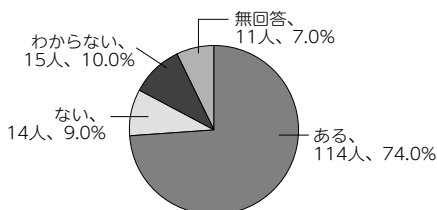
- ・今後は児童養護施設を20歳で出ていかなければいけない子どもたちの支援（ボランティア）をしたいと考えています。
- ・現在、対象としている子ども達（乳幼児期）やお母さん達だけではなく、児童期から青年期、成人期から高齢期へと経過をたどった人間理解を深め、乳児期からの人が人を認識して共感するといった基本的な人間理解（基本的信頼感）を大切にしたい子育ての支援に繋げていきたい。
- ・保育士の経験を生かした児童に関わる相談員として、これからさらに現場でも心理や福祉の学びを不登校や発達障害などで悩む子どもと家族の幸せのために役立てて、相談員として成長していきたい。
- ・今、社会の中でおきている現状、状況を社会心理学的、また臨床心理学的に考えられる観察力と問題意識を持ち、考え、行動できるように大学の学びを役立てていきたいと思います。
- ・子育て支援の活動や、生活に困りごとを持つ方たちへの支援、ボランティアの活動等にも役立てていきたい。

4 入学時の目的についての現在の達成度などを教えてください。

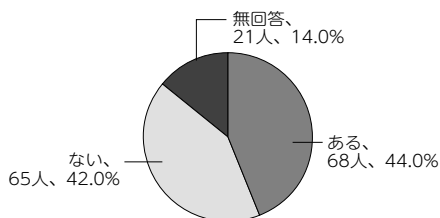
- 1) 入学時の目的は卒業時の今達成できたとお感じですか（国家試験受験資格取得は含む・合否に関しては除く）。



2) 入学時の目的には想定していなかったことで、通信教育部で学んでよかったと感じていることはありますか。

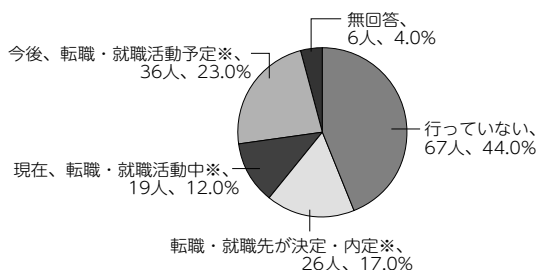


5 通信教育部で学ぶことができればよかったと感じているテーマや科目、学修機会がありますか。

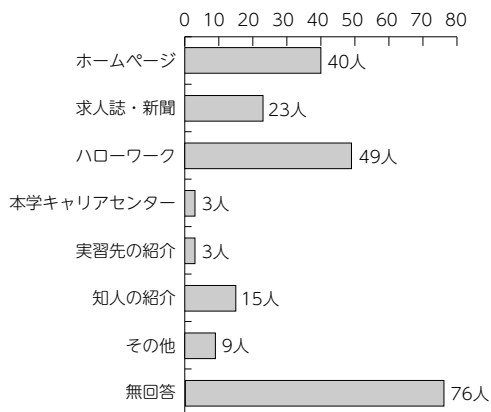


6 卒業後の転職・就職についてお聞きします。

1) 通信教育部で取得した資格や学んだことをいかして、転職・就職活動を行っていますか。※のついた選択肢を選んだ方は、次の設問2)にもご回答ください。



2) 1) で※のついた選択肢を選んだ方にお聞きします。転職・就職先の情報はどのような方法で得ましたか（得る予定ですか）。あてはまる項目をすべて選択してください。



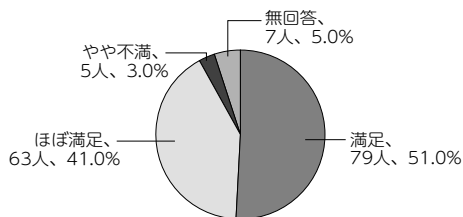
(社会福祉学科 卒業生より)

- ・ハローワーク、地域若者サポートステーション、障害者就業・生活支援センターから支援を受け、市の非常勤職員（障害者雇用）に内定をいただいた。
- ・一般企業からの転職。求人サイトで「社会福祉士」「ソーシャルワーカー」の求人が出ればメール通知されるようにした。ハローワークでも求人検索を行った。現在は、病院のソーシャルワーカーとして4月から勤務している。
- ・県の社会福祉協議会勤務時、市の広報誌に掲載された市立病院の精神保健福祉士に応募し受験しました。採用していただき転職しました。
- ・デイケアの介護員として勤務していましたが、社会福祉士を取得したことで、相談員として働くことができました。
- ・3年次の体験学習先から紹介いただき、翌年（4年次）に応募し受験。内定通知をいただきました。
- ・在学中に、事務職パート→福祉職パート→福祉職の非常勤嘱託と、福祉職での勤務に徐々にシフトしていった。勉強と平行してハローワークやホームページの検索で常に求職活動を行い、結果、仙台市の公務員採用試験を受験し、採用となった。

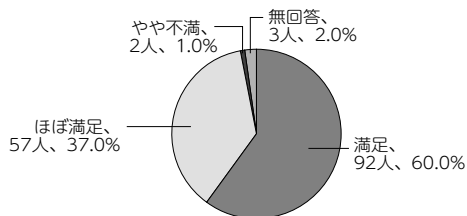
(福祉心理学科 卒業生より)

- ・求人情報やハローワークのインターネットサイトから応募し、保育士から教育委員会の教育相談員に転職できた。
- ・求人サイトで就職活動を行い、児童福祉施設への就職が決まりました。

7 通信教育事務部の職員の対応についてお聞きします。職員の対応はいかがでしたか。一番あてはまる項目を選択してください。



8 通信教育部での学習等について全体的な感想をお聞きします。通信教育部で学んで満足できましたか。一番あてはまる項目を選択してください。



(社会福祉学科 卒業生より)

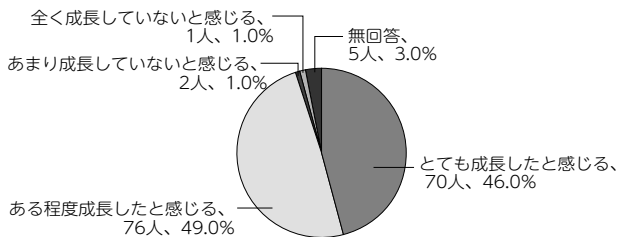
- ・入学前の想像を遥かに超えた深い学びをすることができ、感謝しています。働きながら学ぶことは非常に心身ともに負担が大きかったですが、社会で疑問を感じてからしか吸収できないことも多く、社会に出て働いてから通信教育部で学ぶことに大きな意義があったと思っています。
- ・レポートに伴う文献の読み込みで各テーマに対し深く考察し、レポート作成により自分なりに精査、消化したうえでアウトプットしました。これら作業の繰り返し、知識と考察の涵養となりました。
- ・実習は慣れない環境と、毎日の実習記録が大変でしたが、大変だからこそ得られたものも大きかったと思います。社会人の自分が、新人として新しい環境に入るということ自体が新鮮で、多くのことを吸収し、実践現場を経験できたことは、長い人生の中でも大きな財産になる貴重な時間でした。
- ・4年間で人生観が変わりました。これだけの知識を得られたことは、今まで経験をした実感がなく、感謝でいっぱいです。大学で学んだこと全てを活かして更に学習をし、組織でなく一個人としてもできる社会福祉活動を考え実践していきたいと考えています。

- ・入学前と卒業後で支援・援助に関わる自分のスタンスが大きく変化した。周りからもその変化を指摘されることがよくある。「何が分からないのか」「何を知りたいのか」を掘り下げて学ぶことの尊さ、またその贅沢さを知ることができた。

(福祉心理学科 卒業生より)

- ・本学を卒業できた大きな要因は、オンデマンド・スクーリングで学べたことです。関東在住で仕事をしながら、仙台へのスクーリング参加は難しいものがありました。オンデマンド・スクーリングを受講することにより、自分が勉強できる時間にいつでも、何回も視聴できることで理解が進み、単位修得に繋がりました。そして自身の成長に繋がったと感じています。
- ・はじめは本当に卒業できるのか不安でしたが、それを上回るほどの学びがありました。心理学は生活に活かしてこそその学問だと思いつく思いました。自分が辛いとき、周りに辛さを感じている人がいるときに、いつでも引き出しを開けられるような人でありたいと思います。本当に楽しい4年間でした。

通信教育部で学んで、自身が成長した実感はありますか。一番あてはまる項目を選択してください。



9 在学生へのメッセージ、アドバイスがありましたらお書きください。

(社会福祉学科 卒業生より)

- ・通信教育部では、自分よりも大先輩の人がたくさんいました。そのような方の姿勢を見ていると、「学び」というのはいつまでも諦めなければ可能性は無限大であると感じました。通学課程とは違い、独学が多く孤独に感じてしまうことがあるかもしれませんが、そんな時はどんどん積極的にスクーリングに参加して情報を交換することが大切だと思います。
- ・在学中は、ひとつひとつの講義・レポートに真剣に真摯に取り組むことを一番大切にするのが、卒業や資格取得の近道です。私は、国家試験の勉強はほとんどできずに受験しましたが、合格することができました。それは、講

義・レポートを真剣にやったからだと思っています。

- ・焦らず、じっくりと学習を進めてください。また、せっかくの機会ですから、多少遠回りに感じて、福祉に関する様々な本に目を通すことをお勧めいたします。
- ・在学生へ、苦しい時はあるかもしれないが、とにかく現在が楽しいと思えるように学習を続けていってほしい。楽しいと思えないなら、楽しいと思えるよう勉強を工夫していってほしい。苦しいだけの勉強はモチベーションを保つことが困難。毎日楽しんで勉強し、その一つの到達点として国家試験合格や大学卒業がある。そのような視点で学習に取り組んでいってほしい。
- ・人から評価されることに慣れていない私は、一年目の夏にレポートで低い評価を取り2～3ヶ月何も書けなくなりました。でも寺下明先生が「人の評価なんて気にするな」と言ってくれました。赤塚俊治先生は「いいからさっさと卒業しろ」と言ってくれました。それは私の心まで届き、私は温かなものを感じ、次に進むことができました。ぜひ人の評価なんて気にせず、さっさと卒業する精神でレポートを出しまくってください。無理だったらとりあえず気にしないフリをしましょう。

(福祉心理学科 卒業生より)

- ・スクーリング時に近く席の人への「どちらからですか？」の一言から始まる「どちらから？友達」。スクーリング中に共感し合ったり、質問し合ったり、そして家庭学習中に生活に追われ投げ出しそうになる時、支えてくれたのはこの友達でした。家族の支えだけでなく、学友を持つことは励みになります。
- ・最初が肝心だと思います。ゴールをイメージして、計画を立ててから科目選択をしたほうが良いと感じました。できるならスクーリングを受けたほうが理解力が高まると感じました。